

**進捗報告・中間評価報告時
事務手続きフロー
(資金分配団体・実行団体共通)**

2022年9月

一般財団法人 日本民間公益活動連携機構

1. 進捗報告・中間評価報告の提出から助成金支払いまでの流れと書類の提出

※ 時系列で表示されていますが、具体的なスケジュールは各団体ごとに異なります。

項目	実行団体	資金分配団体	参照先・留意点
実行団体の中間評価計画の点検 2022年8月31日(評価実施前)まで	<p>②資金分配団体からのフィードバック内容を確認</p> <p>資金分配団体から中間評価計画についてフィードバックを受け、必要に応じて中間評価計画の内容を検討。</p>	<p>①実行団体の中間評価計画の点検とフィードバック</p> <p>実行団体の中間評価計画を点検。実行団体に点検結果をフィードバックし、必要に応じて中間評価計画を協議。</p> <p>使用書類：【点検】中間評価計画に対する点検チェックリスト（非公開）</p> <p>③点検結果を報告</p> <p>実行団体の中間評価計画に対する点検結果を JANPIA 担当 PO に報告。</p> <p>提出書類：【点検】中間評価計画に対する点検チェックリスト（非公開）</p> <p>提出方法：JANPIA 担当 PO にメール</p>	<p>■：資料掲出リンク ◆：資金分配団体向け参照 ◇：実行団体向け参照</p> <p>◆点検検証フォーム PDF / Excel</p>
資金分配団体の中間評価計画の点検 2022年8月31日(評価実施前)まで		<p>①JANPIA からのフィードバック内容を確認</p> <p>JANPIA から中間評価計画についてフィードバックを受け、必要に応じて中間評価計画の内容を検討。</p>	

項目	実行団体	資金分配団体	参照先・留意点
<p>実行団体の進捗報告・中間評価報告</p> <p>2022年9月30日まで</p>	<p>②進捗報告書・中間評価報告書（実行団体）の作成・確定</p> <p>中間評価実施後、資金分配団体より提供された①の様式および参考資料を用いて作成。資金分配団体との協議・検討の上で内容を確定。</p> <p>提出期限：資金分配団体ごとに設定された期日(22年9月中)</p> <p>提出方法：資金分配団体の指定する方法（メール等）</p> <p>※新助成システム開発中のため、セールスフォースによる提出はお控えください。</p> <p><u>※新助成システムに関する説明会は9月に予定しております。</u></p> <p>※添付ファイルの内容（非公開項目を除く）を公開予定 一般公開したくない内容が含まれる場合には、公開用ファイルを別途添付。</p>	<p>①進捗報告書・中間評価報告書（実行団体）の準備</p> <p>資金分配団体限定ウェブサイトに掲載している右記の報告書様式をダウンロードし、実行団体に共有。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資金分配団体による独自設問の追加可（デフォルトは必須項目のみ）。 ・必要に応じて、右記◇の書類も実行団体に共有。 <p>▼フィードバック</p>	<p>■：資料掲出リンク ◆：資金分配団体向け参照 ◇：実行団体向け参照</p> <p>■2020年度採択事業向け進捗報告書・中間評価および点検検証の実施に関するご案内</p> <p>■2020年度事業進捗報告/中間評価報告書様式(実行団体) PDF / Word</p> <p>◇進捗報告/中間評価報告書様式の書き方（実行団体）</p> <p>◇休眠預金活用事業_中間評価編_実行団体向け評価ハンドブック_2021年8月版</p> <p>※以下は2019年度事業向けに作成したものとなるため多少異なる部分もございます。</p> <p>◇2019年度事業進捗報告/中間評価報告書様式の事例（実行団体）</p> <p>◇2019年度事業進捗報告の書き方説明動画</p> <p>◇2019年度事業中間評価報告書様式の書き方説明動画</p>
<p>報告をふまえた計画の改定</p> <p>2022年10月3日（新助成システム稼働後）以後の変更申請を推奨</p>	<p>①各計画（実行団体）の更新と別紙変更申請書の確定</p> <p>10月3日以後は新助成システムによる事業計画・資金計画・評価計画の変更申請が可能です（別紙変更申請書自体の作成は不要）。</p> <p>新システム稼働前に別紙変更を実施する場合は、従来の様式を用いた別紙変更手続きを行ってください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▼契約書第5条第2項に該当する変更する場合は、JANPIA PO宛てに意見を付して確認してください（別紙変更申請書を用いる場合の従来通りの手続き） ▼新システム出入力用のエクセル様式へ転記いたしますので、JANPIA POにお申し付けください 	

項目	実行団体	資金分配団体	参照先・留意点 ■：資料掲出リンク ◆：資金分配団体向け参照 ◇：実行団体向け参照
		<p>② 実行団体の別紙変更申請の手続き完了 申請内容の手続きは以下で完了：</p> <p>・事業計画・資金計画を変更する場合は、押印済の「別紙変更申請（結果通知）」を実行団体へ郵送。評価計画書を変更する場合は、結果通知不要。</p>	
<p>実行団体への下期の助成金の支払</p> <p>2022年10月3日（新助成システム稼働後）以後の申請を推奨</p>	<p>① 2022年度下期助成金の申請 原則は新助成システムにて、助成金申請を行う。 ※9月中旬に申請が必要な場合は、従来の「助成金申請書（押印版）」をご提出ください。従来書式でご申請される場合、新助成システム稼働後に「助成金申請」を再度ご入力いただくこととなりますのでご承知おきください（申請額管理のため）。</p> <p>③ 助成金の受領 助成金受領後、「助成金受領書」（押印済）を新助成システムで提出。</p>	<p>② 助成金の申請の確認、支払い 助成金を支払う。</p> <p>④ 「助成金受領書」（押印済）原本を支払証拠書類として管理 ※実行団体の「助成金受領書」は資金分配団体の精算報告の支払証拠書類になります。</p>	<p>■2020年度実行団体用助成金申請書 PDF / Excel</p> <p>■2020年度実行団体用助成金受領書</p> <p>■2020年度実行団体用助成金受領書記入例</p>
<p>実行団体の中間評価報告の検証</p> <p>2022年10月31日まで（10月中旬目途）</p>		<p>① 実行団体の中間評価報告の検証 実行団体からの中間評価報告を受けて、評価結果の検証を実施し、実行団体にフィードバックを行う。 使用書類：【検証】中間評価報告検証のためのチェックリスト_非公開 【点検・検証結果】情報公開用フォーム_公開用</p> <p>② 検証結果の報告 実行団体の中間評価報告に対する検証結果を JANPIA 担当 PO に報告。 提出書類：【検証】中間評価報告検証のためのチェックリスト_非公開 【点検・検証結果】情報公開用フォーム_公開用 提出方法：新助成システム</p> <p>※【点検・検証結果】情報公開用フォーム_公開用のみ外部公開されます。</p>	<p>■点検検証フォーム PDF / Excel</p>
<p>資金分配団体の進捗報告・中間評価報告</p> <p>2022年10月31日まで</p>		<p>① 進捗報告書・中間評価報告書（資金分配団体）の作成 中間評価を実施し、右記の様式および参考資料を用いて報告書を作成。 JANPIA PO と協議・検討の上で内容を最終化。 最終版を担当 PO にメールで提出。</p> <p>提出方法：新助成システム 提出期限：2022年10月31日</p>	<p>■2020年度事業進捗報告/中間評価報告書様式（資金分配団体） PDF / Word</p> <p>◆2020年度事業進捗報告/中間評価報告書様式の書き方（資金分配団体）</p> <p>■2020年度採択事業向け進捗報告書・中間評価およ</p>

項目	実行団体	資金分配団体	参照先・留意点 ■：資料掲出リンク ◆：資金分配団体向け参照 ◇：実行団体向け参照
		※添付ファイルの内容（非公開項目を除く）を公開予定 一般公開したくない内容が含まれる場合には、公開用ファイルを別途添付。	び点検検証の実施に関するご案内
資金分配団体の中間評価報告の検証 2022年11月頃		① <u>評価専門家との検証レビュー会の実施</u> ※詳細は後日ご案内いたします。	
報告をふまえた計画の改定 必要に応じて		① <u>各計画の更新と別紙変更申請書の確定</u> 10月3日以後は新助成システムによる事業計画・資金計画・評価計画の変更申請が可能となります（別紙変更申請書自体の作成は不要）。 ※新システム稼働前に別紙変更を実施する場合は、従来の様式を用いた別紙変更手続きを行ってください。その場合、新システム出入力用のエクセル様式へ転記いたしますので、JANPIA POにお申し付けください。	

正誤表・更新箇所

改訂日	誤(旧)	正(新)
9月8日 (ver.2)	P3. 実行団体への下期の助成金の支払 ① 2022年度下期助成金の申請 原則は新助成システムにて、助成金申請を行う。 ※9月中旬に申請が必要な場合は、従来の「助成金申請書（押印版）」をご提出ください。（右記追加）	① 2022年度下期助成金の申請 原則は新助成システムにて、助成金申請を行う。 ※9月中旬に申請が必要な場合は、従来の「助成金申請書（押印版）」をご提出ください。 従来書式でご申請される場合、新助成システム稼働後に「助成金申請」を再度ご入力いただくこととなりますのでご承知おきください（申請額管理のため）。

以上